

区政会議における意見への対応状況
(外部評価意見への対応方針)

[分類]
①当年度において対応
②翌年度に対応予定

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
1	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「防災ジュニアリーダーについて」 31名の防災ジュニアリーダーがいるのはよいことである。しかしながら、卒業後のフォローがなければ自然消滅してしまう。何かつながりを続けてもらえるような制度はあるか。 また、研修で起震車を活用して地震体験をしてはどうか。楽しく防災の勉強をしてもらえるようにしてほしい。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	防災ジュニアリーダーは、高校卒業まで加入いただけますが、中学卒業後も継続していただけるよう、今年度より消防署の協力で研修を実技中心に切り替え、はしご車(実際には高所作業車)体験やアルファ化米を使ったカレーづくり(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)など、楽しく防災を学ぶ機会とできるよう改善しました。引き続き、参加意欲を高められるよう、ご提案いただいた起震車や阿倍野防災センターを活用した研修を複数回実施するなどの工夫を重ねてまいります。	①
2	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「防災にかかる目標について」 防災に関する目標が区民や地域防災役員の「意識向上」となっているが、9月の880万人訓練での無線訓練で無線がうまく操作できなかったという話もあり、自主防災組織が日常生活の中で防災活動を粘り強く継続できる支援や、自主防災組織の防災活動や備蓄などを確認できる具体的な目標設定が必要ではないか。 (今井委員) (ご意見シートによる意見聴取)	MCA無線は、ある程度操作に慣れていたいただくことでスムーズに使用できるようになるため、地域訓練などで通信訓練を行っていただいております。今後も、機会ごとに通信訓練を重ねていきたいと考えます。 防災に関する具体的な目標設定については、取組内容として、自主防災組織が実施する初期初動対応にかかる救出救護・通信等の訓練(まちなか防災訓練)等の自主的な防災活動の支援や「我が家の防災プランnavi」を活用した家庭内備蓄など日ごろの備えにつなげることを目的に取組を進めてまいります。阿倍野区として、取組を計画的に進め、その有効性を検証しながら阿倍野区将来ビジョンに掲げる、区民や地域防災役員の意識の向上をめざしています。	①
3	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「自主防災組織活動の支援について」 昨年の西成区との境界で発生した崩落事故では隣接の丸山地域が一時避難することになったが、自主防災組織としての自主的な動きはなかった。災害時には区災害対策本部の指示で動く防災組織ではなく、主体的に判断して行動する自主防災組織の必要性を感じている。 (今井委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区の避難所開設マニュアルでは、震度5弱以上で自動的に自主防災組織により避難所を開設することとしています。先日の台風14号の際には、地域の方の自主避難に対応できるよう地域の会館を準備していただいた地域もあり、地域の主体的判断で災害対応していただく意識が高まっていると感じています。 なお、崩落事故の際には、丸山地域が自主的に会館の開設準備をされ、避難に備えていただいたことを確認しています。	①
4	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「崖の安全性について」 阿倍野区は津波などの水害の心配はないが、高台に位置しており崖となっている部分が存在している。昨年の工事が誘発した崩落事故の例もあり、地震の際の崖の安全性などを調査する必要があるのではないか。 (今井委員) (ご意見シートによる意見聴取)	ご意見については、道路管理者である建設局など、所管部局に情報提供しました。 崩落事故現場につきましては、業者決定し10月30日から通行止めを行いながらのり面の補強工事に着手します。 また、認定道路については、異常及び危険個所の発見並びに緊急・応急処置の実施や道路交通に支障を与える障害物の除去など道路を常時良好な状態に保つため日々監視し早期に発見できるよう努めています。	①
5	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「こども110番の家について」 こども110番の家の登録のある家に実際に子どもが行っても受けていただけるような場所なのかということが気になっているので、家がないとか、やめられた、転居された、という状況を年に1回か2回チェックしていただきたい。 (高岡委員) こども110番の家の登録して何年も経過して、黄色い旗が白く変わっているなどの状態がある。 (山崎委員) 「こども110番巡り」も住吉区の広報紙に載っていたが、阿倍野区でも実施しているのか気になった。こどもに何かあったときに、「こども110番に駆け込むんやで」と言われても、どんな人が住んでも分からないので気軽に行ける状態を作れるというのがいいなと思った。 (金光委員)	「こども110番の家」の旗等については、数年経過する中で転出や滅失等があることが判明した時点で、対応しております。今後、地域で有効に活用していただくためにも、地域ままもり隊による巡視の際に旗の劣化などの確認を行い、計画的に名簿の整備や、旗等の更新を順次進めてまいります。	①
6	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「自転車マナーについて」 自転車マナーについて、警察にも協力いただき、あべのカーニバルやスポーツフェスタ等のイベントで、夜間飛び出し注意、ながらスマホ、自転車の飲酒運転等の罰則の周知徹底をお願いできないか。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	自転車マナーについては、10月10日開催のあべのカーニバルでも阿倍野警察署の協力による啓発を実施したところであり、今後も様々なイベントを活用し、警察とも調整しながら対応してまいります。	①
7	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「防犯・交通安全について」 警察の若手署員が各学校に訪問して、定期的に防犯や交通安全について説明はできないのか？ (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野警察署と連携して、保育所、幼稚園、小学校の交通安全教室や、防犯教室を実施しております。また地域会館での特殊詐欺防止啓発も実施しております。今後とも、学校や地域に働きかけを行い、阿倍野警察署と連携し交通安全・防犯の啓発を実施します	①
8	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「災害時等要援護者名簿について」 災害時等要援護者名簿を災害時だけでなく、高齢者がけがをしたとき等の緊急時に大変役に立った。ただ、障がいはいなくても高齢化による課題も出てくるので、名簿に掲載する方をもう少し充実させてもいいのかなと思う。 また、地域での名簿の持ち方について、個人情報のこともあると思うが、けが、交通事故などすぐに家族を呼ばないといけない緊急時に対応できるよう普段から持っていてもいいものなのか。町会長に説明できるように名簿を誰が持てばいいか明文化が必要ではないか。 「個別避難計画の作成について」の説明資料の中で、災害時等要援護者名簿をもとに、要介護5の人を優先対象者に設定すると載っているが、この要介護度は自動的に区役所で切り替えはできているのか。 (久保委員) これだけ高齢化になって独り住まいが多ければ、災害時等要援護者名簿のことを真剣に考えないと、緊急のときに対応できないと思う。緊急時に対応できないと思う。急病など緊急時に、個人情報の問題もある中、名簿をどのように活かせるかについて、地域への説明が必要ではないか。 (二家委員)	災害時等要援護者名簿は、平時の見守り活動に活用する名簿であるとともに、災害時に重要な役割を果たす名簿であり、その活用方法については重要な課題と認識しています。 名簿の登載は、要介護3以上、身体障がい者1・2級など一定の条件を満たす方のうち、名簿への登載に同意をいただいた方に加え、阿倍野区では、名簿に登載を希望された方(健康ではあるが、一人暮らしで不安な高齢者など)を登載しております。名簿の更新は、年に2回、阿倍野区役所において行い、要介護度の変更や転居等も反映して、最新の情報にしております。 個人情報保護の観点から、地域ごとに、名簿の持ち方を取り決めておられると思います。各町会単位でも申請していただければ、町会ごとの名簿を提供することができます。現実的な運用方法についてご相談いただければ、区社協とともに検討してまいります。 個別避難計画の作成については、自力で避難するのが困難な、優先度の高い方(要介護5、身体障がい者等)から、計画を作成しているところです。また、計画の作成を契機として、災害時要援護者名簿を有効に活用するとともに、個人情報の取扱いに関する地域の皆さんの理解の促進や日常的な見守りネットワークのさらなる強化につなげたいと考えています。	①
9	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「緊急通報システムについて」 緊急通報システム申請時の緊急通報先に町会長を含めると、緊急時の連絡先にかかわる問題を解決できるんじゃないかと思う。 (人見委員)	緊急通報システムは、65歳以上のひとり暮らしの方などが、急病など緊急時にボタンを押すなどにより、受信センターと通話ができ、その緊急通報を受け、状況に応じて申請時に緊急連絡先として登録した協力者や親族などへの連絡や、救急車の出動を要請する事業です。高齢者や障がいのある方には非常に心強い手段だと認識しておりますので、必要な方にはお持ちいただけるよう周知に努めてまいります。	①
10	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「見守りネットワークについて」 普段からの見守りのネットワークがうまく機能するように、さらに全体の連携や情報共有の仕組みが見えやすくなるとよいと思う。区社協が全体状況ある程度把握していると思うので、社協からの説明もあるとよいと思った。勉強会は今後も続けてほしい。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	要援護者の見守りネットワークづくりの状況については、引き続き、区政会議福祉・健康づくり部会や地域福祉推進会議において、定期的に報告・情報共有に努めてまいります。区社協には、最前線で地域におけるネットワークづくりに取り組んでいただいており、必要に応じ、関係会議において、区社協から説明する場を設けてまいります。	①
11	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「改正児童福祉法の施行に向けて」 改正児童福祉法の施行に向けて、虐待の解決、居場所づくり、相談支援のセンターの整備を早めに取り組む必要があります。阿倍野区として、要対協の機能の強化、保育園、学童保育、学校、社協などの連携、また子どもの立場からの意見も反映するように、地域福祉計画の推進とも関連させて進めてほしいと思っています。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区としての、児童虐待の防止対策や子育て世帯の支援につきましては、児童虐待防止アウトリーチ事業やこどもサポートネット事業、また、子どもに関する相談や不登校児などの相談支援事業、子どもの居場所や学習支援事業等の取組みによって、各関係機関との連携や、当事者の現状把握に努めながら、地域福祉計画の推進とともに取組を進めてまいります。	①
12	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「自治会・町内会の加入促進について」 マンションの住人と地域とのコミュニケーションがほとんど無く、掃除活動等の地域行事にも出てこられたことが無い。コミュニケーションをもっと促進すれば、自治会、町内会の加入促進に繋がるのではないかと考えている。 (人見委員)	阿倍野区としてもマンション住人をターゲットとする地域コミュニティづくりは重要だと考えており、一昨年には防災を切り口にした「マンション防災を考えるセミナー」をオンラインで開催しました。対象のマンションは、地域役員の意見も聞き選定を行いました。 今年度につきましても、マンションをターゲットに「令和4年度阿倍野区マンション防災計画モデル作成事業」を進めております。今後は、マンション住人も含めて、マンション特有の課題や、地域役員のご意見などを反映させて、マンションの防災計画を作りたいと考えており、その計画を作る過程において、マンション住人によるワークショップ等を通じて、地域コミュニティの大切さや、災害時の自治会・町内会の果たすべき役割も伝えてまいります。	①
13	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「自治会・町内会の加入促進について」 自治会・町内会の加入促進について、最近引越して来られた世帯にお声掛けしたところ、当初は町会に「入りません」という対応であったが、色々説明を行ったところ、最終的には「町会には加入するが、役員は出来ない」という返答をいただいた。地域の各世帯はそれぞれ状況もあるが、地域役員として、自治会・町内会への加入促進活動を行っていく。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取) 自治会・町内会の加入促進について、自治会・町内会は何のためにあり、何をしているのかがよく分からない。参加してみると分かるが、参加しなければ分からないので時間を取られる気がする。また、マンションには組合があるが、そちらと自治会・町内会の兼ね合いがよく分からない。 (荒田委員) (ご意見シートによる意見聴取)	自治会・町内会の啓発については、広報紙の1ページ目の啓発記事「自治会・町内会に加入しましょう」を継続していくとともに、部会でいただいたご意見をもとに、町内会・自治会活動を紹介するなど、情報の充実にも努めてまいります。また、自治会・町内会加入啓発チラシの活用につきましても、阿倍野区では、転入者へ配付しているほか、地域においても活用いただいており、今後も有効的に啓発できるように検討してまいります。	①
14	R4.10	令和4年度第2回区政会議全体会	「コミュニティ育成事業について」 コミュニティ育成事業について、新型コロナウイルス感染者がゼロになることは当面難しいが、感染症対策を徹底したうえで、飲食店等の模擬店の出店や警察のバトカーの体験乗車等、子供が楽しめるような内容を考えてほしい。 (東野委員) (ご意見シートによる意見聴取)	10月10日にあべのカーニバルを現地開催しました。当日は、実行委員会や地域の皆様のご協力により、飲食を含むブースの出店や、消防局より起震車を派遣いただくなど、子どもも楽しめるものも取り入れました。今後も、誰もが楽しめる事業を実施できるよう工夫してまいります。	①

【分類】
①当年度において対応
②翌年度に対応予定

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
15	R4.10	令和4年度第2回 区政会議全体会	「業務の外部活用について」 私の知っている高校教師は、生徒の進路のため、放課後や夏休み含めて受け入れの企業回りに翻弄されて、始発で出勤し終電で帰るといった状態が続いている。進学をしない学生に対しては外部業者などを活用し外注すれば、教師の負担が減り生徒との時間が設けられると思われる。 (荒田委員) (ご意見シートによる意見聴取)	大阪市では教員の補助的業務を担うスクールサポートスタッフを配置し事務負担の軽減を図っています。また、阿倍野区では、「学校園等支援ボランティア人材募集事業」を実施し、区内の市立小中学校・幼稚園・区役所でボランティア活動等に従事していただいております。	①
16	R4.12	令和4年度第3回 全体会議	【小中学生の防災研修について】 防災訓練の内容が10年以上変わっていない。毛布と竿による簡易担架は現実的ではなく布担架の配備にすべきである。また、小中学校の防災研修などで水消火器訓練をするが、子どもたちには消火器を使用して初期消火をするよりも119番通報の仕方や大人を呼ぶようなことを教えていくべきである。町内会にある消火器は期限切れのものが多くと思われるので改善していきたい。 (久保委員) (ご意見シートによる意見聴取)	災害時に救助資機材の不足や保管場所までたどりつけないなどの緊急事態に対応できるよう簡易担架の作成方法などお伝えしています。布担架は大阪市が各避難所と救助資機材ロッカーに一つずつ配備しています。阿倍野区として、布担架を含めて救助資機材の充実につきまして自主防災組織と相談させていただきながら検討してまいります。また、子どもたちの水消火器訓練はご指摘のようにその前に通報などをしなければならないということがあることも啓発してまいります。	①
17	R4.12	令和4年度第3回 区政会議全体会	【中学校の防災研修について】 中学校の訓練の時に備蓄倉庫の整理という訓練を加えれば防災リーダー希望者なども増えるのではないか。平日の学校が主催する防災訓練に防災リーダーや防災役員が参加できるようにすることで防災ジュニアリーダーの情報などを把握しやすくなるのではないか。 避難訓練だけではなく「救助」の体験として「要援護者の救助体験」なども組み入れてはどうか・中学校の年代で育まれる「誰かの役に立つ」という自己肯定感を得られる貴重な機会になると思う。 (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区では中学1年生で「防災研修」として防災講義を、2年生時に「防災訓練」として実技を中心とした訓練を行っています。2年生の実技の訓練の際には、地域防災リーダーや女性防火クラブに参加いただき、生徒たちの訓練のアシストや実技指導を担っていただいております。今後とも、生徒たちと地域の防災役員とのつながりの場として、また、生徒たちの貴重な経験の機会となるよう、訓練等の充実に向けて中学校や自主防災組織と相談しながら進めてまいります。	①
18	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【中学生の防災意識について】 中学生にとって過大な負担なのかどうかについて中学生自身の考えを把握しておけばどうか。 (今井委員)	中学生の負担になっているのではという点について12月18日の第2回防災ジュニアリーダー研修実施後にアンケート結果では、研修の開催回数は2回または3回以上が良いと答えた方が88%であり、また、地域の訓練に参加したいかという設問では、全員が「参加したい」または「都合が合えば参加したい」と回答しており、防災ジュニアリーダー登録者の動機づけは維持されていると言えます。今後とも中学生への研修・訓練において効果の測定を行い、施策に反映してまいります。	①
19	R4.12	令和4年度第3回 区政会議全体会	【中学生の防災意識について】 経営課題1の課題認識の書き方では、大人の責任を棚上げして、中学生に防災活動などを押し付けるような表現に取られてしまっているのではないか。 (吉本委員) 多くを学ぶべき中学生の年代で、自主的に望む者以外への防災教育の強化という表現は適切ではない。 (吉本委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区では、全10地域で、自主防災組織が構成されており、それぞれの地域で災害時の初期初動対応にあたっていたことになっています。各地域では、自主的に企画・運営される住民参加のまちなか防災訓練などに取り組みまれ、区役所も自主防災組織や防災リーダーなどへ第一に支援させていただいております。 一方、学校や家庭など、日中に阿倍野区内におられる中学生と若年者層の方についても、災害時の初期初動対応で、後方支援などを担っていただきたいという趣旨で、若年者層の防災教育も重要課題と位置づけ、阿倍野区独自に防災ジュニアリーダー制度を創設し、登録いただいた中学生の研修・訓練を通じて、災害に対するスキルや知識をつけていただく取り組みを行っています。 中学時期は多くのことを学ぶ大切な年代であり、もちろん、本人の意思に反して防災ジュニアリーダー登録などを強制するような取り組みをするものではありません。授業として実施している防災研修と防災訓練につきましても、中学生の関心が高まるような内容や工夫を積み重ねていくという意味で「強化」と表現しておりましたが、「取組みを充実していく」という表現に修正いたします。	①
20	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【防災ジュニアリーダーについて】 防災ジュニアリーダーが38名いるとのことであるが、氏名などのデータが地域の自主防災組織と共有されていない。登録されているジュニアリーダーと地域がつながることで一緒に防災活動をしていくことができると思う。 (高岡委員)	先日の常盤のまちなか防災訓練で防災ジュニアリーダーがロープ結び体験の指導者をやっていたのを見せていただき、防災ジュニアリーダーの活躍の場を与えていただけていることでやりがいにもつながると思われました。他の地域でも防災ジュニアリーダーの活動をサポートしていただきたいと思いますので、地域の自主防災組織に防災ジュニアリーダーの名簿を共有させていただきます。	①
21	R4.12	令和4年度第3回 区政会議全体会	【個別避難計画について】 寝たきりの方などの避難を支援する個別避難計画は、対象者のいろいろな個人情報の共有が必要であるが、それらの情報収集のマンパワー不足も指摘されている自治体もあると聞く。行政の持つ情報だけではなく、地域や社協、ケアマネージャーなど対象者と関わるいろいろな人から情報収集するような体制づくりが必要だと思う。 (北村委員) 個別避難計画についても、具体的な協力ができればうれしく思います。 (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取)	個別避難計画の策定について、今年度から常盤地域、阿倍野地域と連携して先行実施しています。先行実施する中で、課題や対応策について検討を行い、来年度からの本格実施に向けて各種関係先と連携して、ご意見やご提案をいただきながら取り組んでまいります。	①
22	R4.12	令和4年度第3回 区政会議全体会	【上町台地特有の危険性について】 上町台地上の利点として津波・水害の心配が少ないことはあると思うが、丸山地域あたりの切り立った段差のところの崩落など、台地特有の危険があるのではと思うが、絶壁部分の強度なども把握しておく必要があると思っている。 (今井委員)	阿倍野区の津波被害は想定されていませんが、湾岸区などでは水没するような場所もあり、阿倍野区内に避難される区外の方がおられるという想定のもと、金塚地域、丸山地域や晴明丘地域では近隣区からの受け入れ訓練も取り入れていただいております。また、上町断層帯による地震の場合は、阿倍野区管内では相当の被害が出るかとされていますので、今後とも地域の訓練や学習会などの機会に啓発してまいります。 「絶壁部分の強度なども把握しておく必要がある」というご意見については、道路管理者である建設局など、所管部局に情報提供しました。認定道路については、異常及び危険箇所の発見並びに緊急・応急処置の実施や道路交通に支障を与える障害物の除去など道路を常時良好な状態に保てるよう努めています。	①
23	R4.12	令和4年度第3回 区政会議	【地域住民のまちなか防災訓練への参加について】 災害対策基本法では防災訓練の参加義務がうたわれている。法で定められた参加義務を踏まえて、今後の対応の考えを聞かせてほしい。 (北村委員)	災害対策基本法第6条では、個人での備蓄や防災訓練の参加を「努力義務」として規定しています。強制的な参加を求めるようなことは困難ですが、一人でも多くの方が参加していただけるよう自主防災組織と一緒に啓発手法の充実に向けて検討を行っています。	①
24	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【地域の救助資機材について】 防災広場にいろいろな救助資機材が入っていることを知らずにいた。実際の災害の時にどのように駆けつけ、道具などをうまく使えるかというような訓練が必要。また、薬剤の期限切れがあり、日々の管理を継続する難しさも感じた。 (今井委員)	緊急を要する災害時の救助活動で使用する救助資機材を住民に知っていただくことの重要性について、地域の防災役員とよく相談し、まちなか防災訓練などの際に人を助ける道具の周知やPRに努めてまいります。 また、阿倍野区役所ホームページで、各地域の取組、とりわけ動画を活用した防災の取組などを紹介しており、引き続き効果的な事例などを各地域へ情報共有してまいります。	①
25	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【備蓄物資について】 地域で備蓄しているアルファ化米の期限切れが発生してしまったことがあり、期限切れを承諾いただいたうえで防災役員に持ち帰ってもらったことがある。避難所備蓄の水などは区役所の管理が徹底されているということでしょうか。 (高岡委員)	災害時避難所に備蓄している水など、市として配備している物の使用期限については厳格に管理しております。期限が近付いたものは地域の訓練などで活用していただくなど有効活用に努めております。	①
26	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【無停電電源装置について】 災害時には、いろいろな情報を共有しながら対応していくことが大切であるが、停電を想定すると地域災害対策本部の情報収集や発信力が相当ダウンすると思う。区役所などでは無停電電源装置が装備されていると思うが、地域の会館などでの整備について進めていただきたい。 (北村委員)	現在、全10地域に区役所から発電機をそれぞれ2台配備しております。1台はガスボンベ式の使いやすい機種で、もう1台は出力の大きいガソリン式のものです。現状では、その2台を活用して地域災害対策本部運営を行っていただきたいと考えています。今後とも、電源確保の方策を検討してまいります。	①
27	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【防犯灯のソーラー化について】 阿倍野地域では、防犯灯のソーラー化に着手した。区役所もソーラー化についてSDGsの観点からも検討してもらいたい。 (北村委員)	ソーラー防犯灯につきましては、その性能などについて検討・研究をしているところです。メリットやデメリットも整理したうえで、今後の施策につなげていきたいと考えています。	①
28	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【子ども110番の家について】 前回の区政会議で、子ども110番の家に関する質疑を行ったが、その後の状況はどうなっているか。 (高岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	前回の区政会議以降、一部の地域を抽出して「子ども110番の家」の旗の掲出状況を調査しました。その結果といただきましたご意見を踏まえ、来年度早々にすべての登録家庭に対して、現状確認を行うとともに、職員による実態調査を計画的に行い、旗等が劣化しているものや見当たらないような場合は、必要に応じて、直接働きかけを行ってまいります。	①
29	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【自転車マナーについて】 年末の交通事故防止啓発で、歩道での自転車マナーが悪く、歩行者が歩道を歩くのが怖いというご意見があった。そういう状況があるということをお伝えしたくご報告しました。 (人見委員)	歩道での自転車マナー向上については、これまでも取り組んできましたが、ご指摘のような現状を改めて認識するとともに、より効果的なマナー啓発について阿倍野警察署と連携し取り組んでまいります。	①
30	R4.12	令和4年度第3回 区政会議全体会	【小学校の通学路について】 小学校の通学路に車止め（バリカー）を必要な箇所に設置又はハンパやイメージハンパで路面標示を行なってはどうか。いずれにしてもできることを何かお願いしたい。 (八代委員) (ご意見シートによる意見聴取)	区内小学校のうち、危険度の高い通学路の安全対策について、区長・阿倍野警察署長・平野工営所長等による協議を継続しています。 今年度、その成果としては、丸山小学校北側のグリーンライン上に設置されていた消火栓標識を撤去しました。 また、同小学校北側の北西交差点に十字の交差点標示と南西の三叉路にT字の交差点標示を設置し、それぞれ十字T字の周辺はカラー塗装の施工を完了しました。 引き続き、安全性が確保できる方策を学校・阿倍野警察署・平野工営所と連携して検討してまいります。	①
31	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【親子が楽しく遊べたり外出しやすい場所の提供について】 親子が楽しく遊べたり外出しやすい場所は、あべのにもいくつかあると思いますが、環境を整備して欲しいと思います（外出時におむつを替える場所等）。一度他市を見学されてはいかがでしょう。 (吉本委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区では、親子が集える場等を紹介した子育てマップを広報紙や区ホームページに掲載しています。 また、おむつ替えの場所も含め、小さなお子さまを連れた方などが安心して外出いただけるよう大阪市ホームページに交通バリアフリーマップ(天王寺・阿倍野地区版)を掲載しています。 さらに令和4年8月からは、あべのキューズモールによる親子の遊び場の運営など、地域に密着した活動に取り組んでいただいております。 今後いただいたご意見を参考に子育て世帯への支援を進めてまいります。	①
32	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【子育て支援サービスの充実について】 子どもたちをしっかりと守れるように、ネットワークをさらに広げてほしい。また要対協の運営は、他区の取り組みの進んだ事例があると聞きますので、交流もしてほしいと思います。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	24区の子育て支援室チームリーダーを対象とした定例会議があり、特に近隣区との情報共有や意見交換を行っています。今後も他区の取り組みも参考にしながら、要保護児童対策地域協議会の運営を行っています。	①
33	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【災害時等要援護者名簿について】 支援が必要な高齢者の情報は、1年で変化していくので、災害時等要援護者名簿の内容については、少なくとも1年に1回は更新するよう、区社協やケアマネージャーと連携できる体制にしておかないと、役立たないと感じている。 (北村委員) (ご意見シートによる意見聴取)	災害時等要援護者名簿は、年2回、市役所から送られてくる行政情報をもとに、阿倍野区役所において更新を行なっています。その際、区社協の見守り相談室や地域福祉コーディネーターが把握している情報も反映できるよう連携して、最新の情報とするよう努めています。 地域におかれましては、年2回の最新名簿の提供申請をお願いいたします。	①
34	R4.12	令和4年度第4回 区政会議	【認知症当事者のニーズ把握について】 今年度の3月に認知症当事者の方の講演会を実施し、来年度も実施する予定との説明があり、本当にありがたいと思っている。ただ講演会をやったと終わりのというのではなく、当事者の発信によって、本当に地域の中で、小さな新しい活動がどんどんできていくような、そういうサポートを強化していただきたいと思っているので、よろしく願いしたい。 (中村委員)	委員からご提案をいただき、区社協のご尽力により、令和5年3月に、認知症の当事者の方から、区民の皆さまがお話を聞く講演会が開催されることになりました。 委員ご指摘のとおり、本会の開催を契機に、当事者の方のニーズを把握し、支援の輪が広がっていくよう、区社協と連携しながら取り組んでまいります。	①
35	R4.12	令和4年度第3回 全体会議	【ニーズに合った公的サービスについて】 経営課題3「誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち」のアウトカム指標が低いように感じますが、「縦割りのしくみで解決できない問題」にどのように対応するか、またどのように「ニーズに合った公的サービスに迅速につなげる」か、求められる地域の支援のあり方や、サービスを開発する必要についてもふれてもらいたい。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	アウトカム指標については、令和3年度に策定した区将来ビジョンの目標(令和6年度までに40%)を引用しており、令和4年度は43.2%(速報値)と目標を達成しておりますが、引き続き達成目標を維持できるよう、取り組みを進めてまいります。 令和4年度より運営方針の3-1-2「受けとめる相談支援体制の充実事業」の項目に、複合的な課題を抱えている要援護者への対応として、総合的な支援調整の場(つながる場)の開催について記載しております。相談支援機関・地域・区役所が一体となったこの取組みにより、縦割りのしくみで解決できない問題やニーズに合った公的サービスに迅速につなげてまいります。	①

【分類】
①当年度において対応
②翌年度に対応予定

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
36	R4.12	令和4年度第3回区政会議	【地域福祉活動について】 経営課題3の3－1－3「地域福祉計画の推進」の地域福祉活動に参加したことがあるデータには、参加したいと思っている人の割合や、どのような活動であれば、参加できるかもわかると思う。参加している人が2割を超えていることは評価すべきことかもしれない。また地域福祉活動をどう捉えるかを明確にしておく必要もある。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	今年度の区民モニターアンケートでは、58%の区民が「地域福祉活動に参加したい」と回答されています。参加したい地域福祉活動は、多い順に、こども・子育てを支援する活動、地域住民の交流を支援する活動、地域防災に関する活動、防犯に関する活動などでした。 地域福祉活動にかかるデータや具体的な地域福祉活動の内容などを令和5年度阿倍野区事業計画書にわかりやすく掲載してまいります。	①
37	R4.12	令和4年度第3回区政会議	【いきいき百歳体操について】 私の両親もいい歳になってきて、体があまり動かなくなってきたことから、いきいき百歳体操等がもっと周知されればいいと思っている。どういったところで周知していますか。PRの場を考えていますか。 (東野委員)	いきいき百歳体操については、大阪市ホームページへの掲載や区役所1階保健活動において、リーフレット等を配布し、周知しています。 ホームページには、吉本興業株式会社と共同で作製した百歳体操の動画を掲載していますので、ご家庭においても体験することができます。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者の運動の機会が減っています。活動を休止されている地域もあるかとは各連合会館においては、地域活動協議会補助金等を活用し、平成31年度中には全10地域の会館にフリーWi-Fiを設置しております。 地域活動協議会補助金につきましては、要綱に基づき交付決定を行っておりますが、個人給付となる項目については対象外となっております。お申し出のモバイルWi-Fiルーターにつきましては、持ち運びが可能なことであることから、個人給付になるかどうかの判断が難しく、全10地域とも補助金の対象として認めておりません。ただし、事業・イベントで1～2日間の使用など期間を限定したモバイルWi-Fiルーターのレンタル費用は補助金の対象となります。	①
38	R4.12	令和4年度第3回区政会議	【地域におけるWi-Fi環境について】 各連合会館に、フリーWi-Fiは設置されていますか？ (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取)	各連合会館においては、地域活動協議会補助金等を活用し、平成31年度中には全10地域の会館にフリーWi-Fiを設置しております。 地域活動協議会補助金につきましては、要綱に基づき交付決定を行っておりますが、個人給付となる項目については対象外となっております。お申し出のモバイルWi-Fiルーターにつきましては、持ち運びが可能なことであることから、個人給付になるかどうかの判断が難しく、全10地域とも補助金の対象として認めておりません。ただし、事業・イベントで1～2日間の使用など期間を限定したモバイルWi-Fiルーターのレンタル費用は補助金の対象となります。	①
39	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【おさんぽmapの外国語版の発行について】 英語、中国語、韓国語とありますが、中国語には2つあり、いわゆる中国本土の方が読まれている「簡体字」、台湾の方が読まれている「繁体字」がある。日本の観光片が発表している資料によると日本にいられた方の人数は中国本土からいられた方よりも台湾からいられた方の方が多いという発表にもなっている。「親しみやすい阿倍野、住みやすいまち」という点からも台湾の方も読みやすいなじみのある言葉、を作っていただければと思った。 (東野委員) おさんぽmapの多言語化は4か国で十分だと思う。 わたしの希望としては、日本語で「ふりがなつき」や「図柄入り」、「点字付き」など印刷していただきたい。 (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取) さらに文化面などバージョンアップを続けてほしい。阿倍野には文学関係の実績もたくさんあるので、さらに追加していったほしい。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	おさんぽmapには、歴史・景観施設と大阪府市の顕彰制度により受賞されたお店・企業などを掲載しています。 今後、おさんぽmapの多言語化などを進めるにあたって、いただいたご意見を参考に、観光客の動向や費用対効果も勘案しながら、取組を展開してまいります。	②
40	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【事業効果の検証について】 令和5年度の運営方針を策定にあたり、特に長期的な目標の設定において、区民がどう感じているかを区民モニターアンケートで測定することが重要になると思う。 実際に掲げている目標について、目標達成しているか、また正しい方向性となっているかを、区民モニターアンケートにより早期に確認し、分析する必要があると思う。その分析に基づいて、事業のブラッシュアップやアプローチの見直しが必要になるのではないのか。 (高橋委員) アンケートの分析は、どの部署が行っているのか。また、専門家は携わっているのか。 (小寺委員)	阿倍野区将来ビジョンにおいて、令和3年度から6年度までの長期的な目標値を設定し、毎年、区民モニターアンケートを実施し、その進捗管理を行っています。 区民モニターアンケートについては、調査等の分野に精通している事業者に委託し、年齢別や経年比較等の分析を行い、その結果をふまえ、各担当において各施策が効果的に実施されているかを検証します。今後も施策が効果的に実施され、目標値に近づいていくようブラッシュアップしてまいります。	①
41	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【事業効果の検証について】 経営課題2「2－2 子育てしやすく、すべての子ども・青少年が健やかに育つ環境づくり」の令和3年度、4年度のアウトカム指標に対する数値、満足度が高い。それに対して相談件数は年々増加していますとか、カウンセリングや助言の必要性が高まっていますとか、数値と下の現状の項目が全然相反するような傾向を出していると思うんですけど、この辺のギャップについて何か、なぜこうなるのかっていうようなところが分かれば、教えていただきたい。 (今井委員)	子育て支援サービスや児童虐待の取組について、当区独自の施策を進めています。 新型コロナウイルス感染症の影響により、不登校や家庭の様々な課題も増え、子育て支援室への相談件数が年々増加している現状ですが、「安心して子育てしやすく、子ども・青少年が健やかに育つ環境があると感じる区民の割合」は、78%と目標達成しており、不安な時に相談できる体制や支援があると評価されたと考えています。今後も子育て支援サービスや児童虐待の取組を進めてまいります。	①
42	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【予算について】 来年度の予算で、ここは大きく増やして、阿倍野区として取り組んでいく事業ついて、お聞きしたい。 (中村委員)	令和5年度予算において、2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成を図るため、各種イベント等で使用する啓発グッズの購入に加え、具体的取組の4－2－1「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」に掲げるおさんぽmapの日本語版の増刷と外国語版を作成し、発信に力を入れてまいります。	②
43	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【予算について】 3ページのところで、経営課題1の「安全と安心を未来につなぎます」の予算案がすぐ上がつるが、内容見てないので、どんな事業を行うのか。 (高岡委員)	具体的取組1－2－3、放置自転車に関する具体的取組の一番下の「天王寺・あべの橋駅自転車駐車場の増設」を区長が建設局に依頼をしまして、区内の駐輪対策等に使える区CM予算を要求しております。今回、歩道の一部の樹木を伐採する計画があり、そこを駐輪場に転用いただけるということで、確保することに至りましたので、単年度で整備するため、予算規模が大きくなっています。	②
44	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【小中学生への防災研修について】 防災ジュニアリーダーの訓練で中学生の災害対応スキルを上げていくのを否定はしないが、やはり義務教育年代では震災で生き抜く力を育てるというような教育を中心に据えたうえで、防災ジュニアリーダーという制度もあるのではないかと思う。 (今井委員) 防災の取組も新型コロナウイルス感染症の影響により3年間実施が困難であり、各地区によってそれぞれ工夫してやっておられますけど、これから大きな災害があったときにどう取り組むのか、防災教育などもきめ細かくできるといいなというふうに思う。 (永岡委員)	阿倍野区における防災の取組の柱の一つに若年層の防災意識向上を掲げています。日中に阿倍野区内におられる中学生等若年者層の方に、災害時の初期初動対応で、後方支援などを担っていただくため、阿倍野区独自に中高校生を対象とした防災ジュニアリーダー制度を創設し、研修・訓練を通じて、災害に対するスキルや知識をつける取組を行っています。 また、防災授業として、小学校低学年では「命を守る行動」についての学習、高学年では、煙から命を守る体験などを土曜授業などで行い、若いうちから防災意識を養っていただくことで、命を守り、生き抜く力を育てる取組を実施しております。 今後とも若年層の防災意識向上の取組を進めてまいります。	①
45	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【マンション防災計画について】 自宅のマンションが、マンション防災計画事業のモデルマンションとなり、事業者や区役所のサポートで、当マンションの防災計画が完成した。目標数値が未達成だが、当マンションはこの事業でサポートいただいたおかげで、理事はもちろん、住民の災害やその対応などについての意識が各段に上がり、マンション内の危険箇所の検討や備蓄の検討など大変意義のある事業に参画させていただけた。小さな一歩かもしれないが、継続して取組を発信していくことがいろいろな課題解決につながっていくと思う。 (高橋委員)	マンション防災の取組につきましては、モデルとして高松地域・常盤地域・文の里地域からマンション規模を勘案し3棟を選定し、マンション防災計画に高い見識を持つ事業者が各マンションの理事会などにファシリテーターとして入り、各マンションの防災計画の作成を支援しました。また、マンション防災計画作成に向けたリーフレット及びひな形が完成しました。 さらに令和5年2月に区内の50戸以上の分譲マンション62棟を対象にアンケートを行い、回答のあった35棟に対して、マンション防災計画の作成に向けてのリーフレットを送付しております。 防災計画作成に関心があるなど、反応のあったマンションにはこちらからアプローチし、マンションでの防災の取組が今後も展開できるよう出前講座や理事会での意見交換への参加などに努めてまいります。	①
46	R4.12	令和4年度第3回区政会議全体会	【音響信号機について】 視覚障がい者用の信号機が、夜20時から朝8時まで、近隣住宅への配慮のため、音がならない。早朝より出勤している視覚障がい者にとっては音響は必要なので、周囲の人が視覚障がい者に気づいて音響信号機のボタンを押していただけたとありがたいが、なかなか気づいてもらえない。阿倍野区の広報紙で、このような内容の発信をしてもらえないか。また、文の里駅のエレベーターにも、障がい者に配慮した案内なども行っていただきたい。 (金光委員)	広報あべの9月号の交通安全キャンペーンに含わせて、ご提案の内容を発信する記事を掲載する予定で準備を進めます。また、即時性のある阿倍野区ツイッターでの発信をさせていただきました。 春秋の交通安全運動期間に関係機関や、阿倍野区身体障者団体協議会を含む各種団体と会議、啓発の取組を行っております。今回いただきました文の里駅のご意見に関しましては、今春の交通安全運動における会議の中で、同様のご意見があり、阿倍野警察署も現場確認をしていると聞いております。阿倍野区としとしても、関係機関や各種団体とも連携して、引き続き取り組んでまいります。	①
47	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【小学校の安全対策について】 丸山小学校の正門付近の安全対策として、「道路に沿った形で学校敷地内に通路を造ることを考えている」との話だったが、もう少し具体的なイメージを教えてください。 (今井委員)	具体的には、道路との境界にある既存の塀をガードレールに見立てて、その内側に敷地内通路を設けることを教育委員会で検討いただいています。	①
48	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【子どものICTの促進について】 ICTを取り入れた学校教育による効果について、どこかで情報発信されているのか。 (荒田委員)	大阪市では教員や児童生徒によるICTの積極的・効果的な活用をさらに推進し、情報活用能力の育成や学力の向上につなげていくために、本市学校におけるICT機器の活用方策や、ICT環境整備のあり方などをまとめた「大阪市学校教育ICTビジョン」が、大阪市ホームページに公表されています。この「大阪市学校教育ICTビジョン」の中で、過去のモデル校における取組についての効果として「学習意欲の向上」、「学びの深化」、「学習理解度の向上」などが記載されています。	①
49	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【地域福祉活動について】 みんなで支えあう地域づくりには、区政会議等意見として、「当事者の声を聞いてニーズを把握してモデル的な活動ができよう」と記載されているが、具体的な取組に、もう少し阿倍野区ならではの斬新な取組が薄いような気がするのので一つ二つあったらいいと思った。 また、地域の人や学生等が、当事者の発信を受け、みなさまが楽しく地域の中で支えあう、福祉的な土壌が自然に生まれていくような、阿倍野区ならではの新しくわくわくするような具体的な取組が生まれたらいいと思った。 (中村委員) 「支援が届いていない」、「支援が必要な人に十分届いていない」と思っている人が4割以上おられる現状でどういふことが必要なのか、などの地域の生活ニーズなど地域で話し合っ提案しているプロセスがあるといいなと思った。 地域の福祉活動については、数字では分からないことがあって、少しずつ積み上げていって変わっていくところもあるので、地域福祉活動に参加している人が24%と、考え方によっては4人に1人が参加しているということで、参加している度合いも高いのかもしれないと思ったり、何を地域福祉活動と捉えるかによって数字が変わってくるので、分析も必要かなと思った。	地域の福祉活動を担っている様々な団体等が集い、新たなニーズや当事者の方から意見をお聞きする場を設けて、運営方針や地域福祉計画の策定に活用してまいります。 当事者の参画という点で、阿倍野区ならではの新たな動きとして、例えば区内で認知症のサポート活動を行うグループでは、講演会で認知症ご本人が講師となり、また産直野菜の販売を行うなど、自分らしく活躍できる場を提供されています。こうした先進的な事例については、情報の共有化を図ることにより、各種取組の継続発展や新たな取組の創出につなげてまいります。 また、地域福祉活動については、区民モニターアンケートにその内容も例示しており、令和5年度事業計画書（経営課題3－1の現状欄）にも同様の内容を掲載しております。 今後も支援を必要とする人を適切な支援につなげるとともに、相談支援機関や窓口の周知・広報を進めてまいります。	②
50	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【自治会・町内会の加入促進について】 町会費で私道のところに街灯をつけたり防犯カメラをつけている。 ここ何年か、広報紙にも毎月「自治会・町内会に加入しよう」とお知らせをしていたいているのはありがたいんですが、区役所はどのように考えられているのか。 (家永委員)	町会は、大阪市において、住民に一番身近な組織であり、地域コミュニティの醸成、活性化を図るために重要なものと認識しております。 町会への加入については、広報紙において毎月加入促進の記事を掲載しており、ホームページでも掲載しております。 今年度は各連合の紹介記事も掲載する取組を始めました。 町会加入促進のチラシについても街路防犯灯や防犯カメラにも町会費が使われていることがわかるような内容としており、阿倍野区へ転入されてこられた方へお渡しする「転入パック」に入れてお知らせをしております。 今後、引き続き周知するとともに、地域のみなさまのご意見もお聞きしながら取組を続けてまいります。また、本市の動向も見ながら取組も検討してまいります。	①
51	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【若手職員の育成・登用について】 「改革を推進する職員づくり」ということで、職員の研修を含めて区政をレベルアップしてほしい。若い方を登用して、若い人の力を十分伸ばしていただきたい。 (久保委員)	改革を推進する職員づくりの取組のひとつとして、採用1年目から4年目の職員を対象に人材育成研修を実施しています。1年かけて、区役所の区民サービスをよりよくしていくための改善策を話し合っ、提案するという内容です。また、大阪・関西万博に向けた機運盛り上げについても、若手職員も含むプロジェクトチームで様々なアイデアを出して取り組んでいます。今後とも、若手職員の育成の場となる機会を設けてまいります。	①
52	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【ジェンダー社会について】 ジェンダー社会の問題というのは、阿倍野区役所のこの課題には特に入っていないと思いますが、社会的にもやはり大事な課題だと思います。男を中心ではなかなか視野に入らないこの問題を一歩進める必要があるのではないかというふうに思います。 (今井委員)	人権の取組の一つとして、ジェンダーの問題も含めて啓発や区役所を会場として特設人権相談などを行っています。 なお、避難所開設や運営方法などにも女性の視点を踏まえ取り組んでいます。	①

- 【分類】
①当年度において対応
②翌年度に対応予定

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
53	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【区政会議の運営について】 委員からの質問・意見に区役所が答える一問一答方式は、区役所の発言に時間をとり、委員の発言機会を狭めているのではないか。区役所の発言はまとめて一括して行うのも一つの方法だと思う。また、総合討論もあっていいと思う。自由な雰囲気 (今井委員) 自由な雰囲気での討論や席の近い状態で話ができたら深まる気もする。 (森委員)	委員の発言機会については、できる限り確保するよう区政会議の進め方を工夫してまいります。また、昨年度から区政会議各部会ごとに勉強会を開催し、自由に発言できる機会を設けました。今後とも引き続き、議論を深めたり、アイデアが生まれるような工夫をしながら運営してまいります。	①
54	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【運営方針にかかる予算説明について】 地域の民主的な行政に参加できる区政会議委員にとって、重点的な予算措置や予算執行に関して検証できる情報をいただきたい。 (北村委員)	重点的な予算措置や予算執行に関して検証できる資料や説明については、次回以降の区政会議において、よりわかりやすい情報提供ができるよう工夫してまいります。	①
55	R5.6	令和5年度第1回区政会議全体会	【運営方針にかかる目標達成について】 目標未達のところについては、その原因が明確になっているのか、今後の改善点など考えておられるのか知りたい。 (荒田委員)	各具体的取組の目標が未達成となっている課題・改善策については、「令和4年度阿倍野区運営方針（自己評価）」に記載しております。詳細は、各具体的取組の「自己評価」欄の「プロセス指標の達成状況」が「②」となっている取組が目標未達成で、「課題」と「改善策」の欄に各々記載をしております。	①
56	R5.7	令和5年度第1回区政会議全体会	【イベント等を通じたつながりづくりについて】 地域の方々が、様々な活動を継続されているが、以前のようにお住まいの方のことが分からない状況になっており、子どもが少なくなり、高齢者や認知症の方が増えていく中で、今までの活動をより充実させることは大切だと思う。 (中村委員) 昔からの方は顔見知り、お付き合いがあるので世帯の状況は把握されてる。それ以外（新しいマンションの方）とのギャップが町会での問題となっている。 (古本委員) 30～50歳代の方に、イベント等へ参加してもらうには、阿倍野区独自のスポーツイベントなどを開催して、子どもと一緒に参加してもらうようにしたいと思う。 阿倍野区は卓球の「王子サーブ」が生まれたゆかりの地であるので、もう少しアピールし、子どもとその親、高齢者までが参加できる卓球大会などのスポーツイベントを開催すれば、運動の機会になるだけではなく、皆さまが集まる場になるし、新しいボランティアを発掘する場としても有意義ではないか。 また、人が多く集まる食を伴うイベント（どっぶり、昭和町。）で町会や福祉のことなどについてアプローチできれば効果あると思う。 (金光委員)	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、地域活動が順次再開される中、これまで継続して取り組んでこられた高齢者食事サービス等、従来の活動をしっかり支援することが重要であると認識しております。 スポーツ大会等のイベントは、地域のつながりづくりの面でも、健康づくりの面でも非常に効果的であると認識しており、つながりづくりの場として活用いただけるよう、区の地域福祉活動を担っている社会福祉協議会と連携して、広報・周知を行ってまいります。また、あべのカーニバルやスポーツフェスタなど区が関与するイベントについては、多様な世代の方に参画いただけるよう、プログラムなどを工夫してまいります。	②
57	R5.7	令和5年度第1回区政会議全体会	【要援護者名簿の活用について】 町会長は地域の全体的なことは分かるが、細かいことは分からないので、地域にお住まいの高齢者の状況をどう把握するかが問題である。 町会長が要援護者名簿をよく知り、利用する体制ができていないと思う。 地域のコーディネーターと町会長が、要援護者名簿や食事サービスの訪問状況の情報を共有できれば、地域の変化が少しずつ分かってくると思う。 (北村委員)	高齢者の安否確認などの情報を、日ごろから関係者が共有できるよう、「要援護者名簿」の充分な活用を促すなど地域の取組を支援してまいります。 食事サービスについては、会食を基本としていますが、この間新型コロナウイルス感染症による地域の活動自粛のため、多くの地域では、配達や指定場所での配付等の工夫を行い、高齢者の安否確認や声かけによって、地域のつながりづくりにも役立っているとお聞きしています。地域の実情に応じて今後も実施していただければと考えています。	②
58	R5.7	令和5年度第1回区政会議全体会	【緊急連絡先について】 独居・障がいの方の緊急連絡の登録は町会でやったらいいかなと思う。 (山崎委員) 民生委員では独り暮らしの家庭に、冷蔵庫に入れておく「あべのあんしんキット」という取組をしている。これも民生委員だけでなく町会にもつなげていったらいいかなと思う。 (八代委員) 「あべのあんしんキット」の内容が更新されないで、どこかで見直しが必要と思う。 (家永委員)	民生委員・児童委員協議会で取り組んでいる「あべのあんしんキット」は、75歳以上の独居の高齢者やこれに準じる高齢者や障がい者を対象に実施されている取組で、災害時や救急時等に活用する緊急連絡先や、かかりつけ医の情報等を冷蔵庫に保管しておく効果的な取組であると認識しております。 万が一に備えて、地域で必要な方がいらっしゃる場合は、お近くの民生委員または、区役所内の民生委員・児童委員協議会事務局へご相談ください。 区としても引き続き、広報等を行ってまいります。	①
59	R5.7	令和5年度第1回区政会議全体会	【地域のつながりについて】 仕組みを作ることからではなく、ニーズを把握し、福祉課題を1つでもいいから解決していくことからスタートすればもっとみんなを巻き込めると思う。 福祉部会は福祉だけではなく、まちづくりしている人なたちとつながって、いろんな発想が出てくると思う。アプリにしても、まちづくりの活動をしている元気で若い学生たちも入っている中で提案したら、すぐできるかもしれない。予算・時間がかかる。先送りにするのではなく、すぐに動けるようなこともあるかなと思う。考え方として地域の中で育てあげてきた活動にプラスしていけば、地域の広がりがつながりが深まっていくような気がしております。 (中村委員)	地域の福祉活動を担っている様々な団体や福祉以外の分野で活動している方等が集い、当事者の方から意見をお聞きする場を設けるなど、事例の共有とともに各種取組の継続発展や新たな取組の創出につなげてまいります。	②
60	R5.7	令和5年度第1回まちづくり部会	【町会加入のメリットについて】 町会加入のメリットは、加入していなければ隣近所しか挨拶することがないけれど、加入しているといろんな方と顔なじみになれると個人的には思う。また、顔見知りの関係になることで独居老人の方の非常事態の防止につながることもあるかもしれないと感じる。 町会に入ったらこんなメリットがありますよ、というのはあったとしても結局は役員をしてほしいと言われるだろうという恐怖心が絶対あると思う。でも、一度まずは参加してほしいということを伝えていく。まず、関係性を作っていく、どこに聞けばいいのか、などわかりやすくしていくことが必要。マンションの場合は、まず管理人さんがいるか、いないか、いたら、まずどんな人か、まず仲良くなっていくのが大事ではないかなと、ポイントではないかなと昨今感じる。 (東野委員) 町会の加入は親の世代からずっと加入していて当たり前のようになっていたけれど、子どもを産んでから特に思ったのは子供会というのがとてもよかった。 子供会に入っているおかげでマンションに住んでいても異年齢の子達とのつながりができて仲良くなった。子供会の活動のおかげで知り合いも増えてよかったと感じている。 でも、単身の方はなぜ町会に入るのか理解できない、入らなくても困っていない、という方も多い。何がいい、ということがわかっていない、マンションでも必ず入らないといけないという仕組みがあれば広まっていくなと思う。	町会に加入した際にどんな役割があるのか、どんなメリットがあるのか、ということがわかるツールができれば加入促進の取組を実際にさせていただきやすいのではないかと考えています。来年度に向け、地域のみなさまと連携して取り組んでまいります。	②
61	R5.7	令和5年度第1回まちづくり部会	【あべのカーニバル・あべのスポーツフェスタの開催方法について】 あべのカーニバルやスポーツフェスタについて、毎年同じ会場で開催されているが、開催地を変更してはどうか。 また、スポーツフェスタの昼休憩の時に民謡等を実施しているが、もっと踊り等をしたと思っている方もいると思うので、予算の問題もあるが、例えば、天王寺高校を第一会場、隣にある文の里中学校を第二会場として会場を分けてもいいのではないかな。 (東野委員) あべのカーニバルの会場で出店する方だけでなく、ご自分の店舗でもあべのカーニバルを行っているような形で担い手として関わってほしいなと思った。 (大森委員) 町会や地域の方だけでなく、お店の方がもっと出店してくれたら新しいカーニバルになると思う。そうすることにより、子供やファミリー、若い世代や単身の方等が交わるカーニバルになるのではないかと考える。 (岡本委員) スポーツフェスタもカーニバルと同様に複数の場所で開催する等、開催場所については、議論していくことは必要だと考える。 (高岡委員)	今年度のあべのカーニバルは、阿倍野区民センター及びやすらぎ天空館で開催いたします。開催場所を変えることで、良かった面が損なわれないようあべのカーニバル実行委員会で議論いただいています。 令和6年度に向けて、あべのカーニバルやスポーツフェスタの開催地及びプログラムについては、引き続き実行委員会で議論してまいります。よりよい事業を実施できるよう、みなさまの意見をいただき、検討してまいります。	②
62	R5.7	令和5年度第1回まちづくり部会	【おさんぽマップの配架について】 「おさんぽmap」や「おさんぽmap外国語版」をもっとPRすべき。「おさんぽmap外国語版」は外国人向けの案内所など置くといっているのではないかな。また、交通機関としてJR天王寺駅や鶴ヶ丘駅。鶴ヶ丘駅は長居スタジアムがあるので観客に周知できると思う。 (東野委員) スタンプラリーは、大人も子供も、押したくなるので、いい取組と思う。どこに置いてるか分かればもっと手に取ってもらえると思う。 近鉄百貨店などは、外国語版を置いてもらったらいいと思う。 (岡本委員) おさんぽマップのPRの場所としては、宿泊施設に置いたらいいのではないかな。 (大森委員) 阿倍野区内にマップがどこにあるか場所がなかなか分からない。これから万博に関して、おさんぽマップや外国語版をどういうところに置いていこうとしているかな。	現在、阿倍野区役所、区民センター、天王寺サービスカウンターをはじめ、天王寺ミオ、キューズモール、あべのハルカス、区内の鉄道駅等で配架しております。また、区外では、関西空港や梅田・難波の観光案内所にも置いてあります。 設置場所の周知については、ホームページやSNSで発信を進めてまいります。 今回のご意見をふまえ、外国語版も含めて、宿泊施設やその他集客施設にも設置依頼をしております。さらに、スマートフォンでデジタルマップも常に見ていただけるようにしています。 外国語版のデジタル化についても研究してまいります。併せて万博に向けては、「AbenoExpo2023」等の機運盛り上げイベントや地域のイベント等でもPRしてまいります。	①
63	R5.7	令和5年度第1回まちづくり部会	【おさんぽマップのPR方法について】 PRの方法について、30秒で分かるような短い動画がいいと思う。 冊子は情報をすぐに更新できないが、動画やSNSで補足や訂正、追加ができ、冊子と動画の内容をリンクさせたり、マップの使い方の動画があればよい。マップにQRコードをつけて使い方を載せる動画に誘導させるといいのでは。 (岡本委員)	マップの使い方等の紹介動画を作成し、QRコードにして最初のページに掲載するなど、引き続き充実してまいります。	②
64	R5.7	令和5年度第1回まちづくり部会	【通信手段について】 災害時は衛星のインターネットを活用することになっていくと感じている。災害時だけ、接続するような契約が可能かどうかはわからないが、日本でもサービスが始まっているスカイリンクなどを調べてみてはどうかな。また、災害時に使える通信手段の優先パターンなどを明示して共有してもらえるといいのではないかな。 すべての通信手段が使えないとなった時、最後はアナログの連絡網のような物が有効になる。避難所の掲示板などを使って情報が必要な人に伝えていくような仕組みがデジタルのものとは別に必要ではないかな。 (荒田委員) 改善効果が「小」と「大」の手法が示されている。「中」の手法もあった方がよかったのではないかな。 (石丸委員)	MCA無線の一部届きにくい地域がある現状の通信状況の改善は喫緊の課題であり、今回は3つの手法をお示ししましたが、衛星のインターネット回線の使用等他の手法についても費用対効果を勘案しつつ検討してまいります。 また、ご教示いただいたデジタルの手法が使用できない場合の掲示板活用の仕組みも地域の皆さまと相談させていただきながら検討してまいります。	②
65	R5.7	令和5年度第1回まちづくり部会	【個別避難計画について】 個別避難計画を進めるにあたって、市町村と自主防災組織に新たにどういったことが必要になるのか。具体的には、支援者の確保、対象者の個人情報の保管などについての考えを聞きたい。災害対策基本法改正の主旨として避難支援の実効性を高めることが要点だと思うが、個人情報の保管など、地域としては非常に重たい課題についてあまり説明されないまま実施している現在の取組に少し疑問を持っている。モデルとして取り組んだ結果、その地域は、どのように変わったのかなどの検証をしていくべきと思う。 (今井委員)	阿倍野区では、速やかな避難が難しい方として、要介護5の方及び身体障がい者1級（ペースメーカーと腎疾患を除く）の方を対象者として、個別避難計画を作成しています。この事業は、災害時の優先的な安否確認を事業の要に据えており、自主防災組織の中心である町会長を通じて、対象者に個別避難計画の作成にかかる目的や個人情報保護について、ご説明させていただいております。 支援者の確保については、民生委員をはじめとする福祉関係者の協力や適切な支援者の確保など、町会長からご提案もいただいております。昨年度、常盤、阿倍野地域をモデルとして着手した結果も含めて各地域の好事例の共有を行いながら取り組んでまいります。	②

【分類】
①当年度において対応
②翌年度に対応予定

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
66	R5.7	令和5年度第1回安心部会	【防災道具類の保管場所について】 丸山地域では児童遊園の一角に設置したいという意見もある。その地域が一番必要とする場所に設置するということが大事なのではないかなと思う。また、マンションの多い地域と一般的な住宅が多い地域とでは必要な器材の種類が違うのではないかなとも思う。そういったことをよく地域と相談して進める、さらには、防犯上の観点から、保管などについて警察署の助言をもらうなどいいのではないかな。 （今井委員） 自宅前の公園にあるポンプ庫に資器材一式が入っており、地域で用意した資器材も格納している。発電機なども格納するなど、ポンプ庫をいろいろと活用している。災害用の物品は電池の入れ替えなど基本的な事も含めて人任せにせず、地域自らでしっかりと管理していくべきだと心がけている。 （久保委員） 現在の保管場所や保管している資器材の種類などをリスト化しておくことも必要ではないかな。 （荒田委員）	新たな救助資器材の設置につきましては、地域が選定いただいた場所に、消防署や警察署などの関係機関に留意点などを確認して、令和6年度の配備に向けて進めてまいります。 救助資器材の保管場所は避難所、区役所及び消防のポンプ庫であり、リスト化することは可能です。ただし、避難所である学校施設内の詳細な設置場所等の情報を開示することに限っては、児童・生徒の防犯上の観点から公表することはできません。	②
67	R5.7	令和5年度第1回安全・安心部会	【自転車マナーについて】 以前、大阪府警の「信号守らせ隊」で活動をしていたが、大人のマナーが非常に悪いことを実感している。自転車利用者に対し、具体的な交通違反の内容、ながらスマホ、信号無視などは罰金が課せられることを記載した垂れ幕（のぼり）で、交通ルール的重要性を強調することを提案する。 （人見委員） 毎朝、子ども見守り隊で活動する中で、西田辺駅へ向かう自転車を多く見かける。特に子どもを乗せた方が多く、子どもを幼稚園、保育所などへ送る姿を見るがヘルメット着用の方はほとんどいない。また駅周辺の駐輪問題として、自転車に乗らない日などをつくるとか、高齢者には健康管理にもつながるなど近隣の駅まで歩くよう促す。それに歩いて行けばヘルメットは必要はないなどと啓発していくべきではないかな。 （久保委員）	交通ルールに関するのぼりや啓発グッズに罰金等の記載をして啓発することについては、阿倍野警察署と相談しながら検討してまいります。また、交差点付近などで区役所の青色防犯パトロールカーでの音声による啓発も合わせて検討してまいります。	②
68	R5.7	令和5年度第1回安全・安心部会	【事故多発MAPについて】 交差点や自転車の往来が多いところで事故が多く、事故多発マップのようなもの作成し、区のホームページ等に載せてほしい。 （本庄委員） 自転車関連事故の発生率が大阪府全体よりも阿倍野区の発生率が高く、事故発生数の5割が交差点、交差点付近で起こっている。事故の多い場所、見通しの悪い交差点など情報を把握しているのならば対処も可能であるし、子どもたちにも気をつけるべき場所を教えることができる。 （高橋委員） 阿倍野区内のマップを作成し、事故発生マップのようなものを区のホームページ、広報紙に掲載してはどうか。	ご提案を受け、自転車関連の事故が発生している箇所の地図情報につきましては、阿倍野警察署と相談した結果、大阪府警ホームページの事故マップや阿倍野警察署ホームページの「阿倍野区自転車私道啓発重点路線」を阿倍野区役所ホームページからも閲覧できるよう掲載します。	①
69	R5.7	令和5年度第1回安全・安心部会	【電動キックボードについて】 電動キックボードの利用が緩和されました。歩道走行可（時速6km以下）や、免許不要、ヘルメット着用についても努力義務など。交通事故多発につながる可能性がある。すでに1件の事故が発生している。この件についてどうお考えでしょうか。 （宮本委員）	現在、区役所にて電動キックボードの基本ルール啓発チラシを配架しております。今後、電動キックボードの基本ルール等の啓発については出前講座も活用し、阿倍野警察署と連携し実施に向けて検討してまいります。	②
70	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【ヘルメットの着用について】 阿倍野区内で自転車に乗った小学生が、車の事故にあった。ヘルメットの未着用のみが亡くなった原因のように報じられている。着用率はどれくらいなのか。ヘルメット着用が努力義務になったことをもっとPRしてほしい。特に子どもの自転車の前かごには入れてほしい。 （金光委員） 事故があったことが地域としても非常につらい。ヘルメット着用のPR、啓発をいかにしていくか、警察とも連携していただき、前向きに考えていただきたい。 （高岡委員）	事故後の具体的な対策として現地に設置されているカーブミラーを大きくしたり、また交通取り締まりの強化を図るなど迅速な対応がなされることを関係先である建設局及び警察より確認しております。さらに運転者への注意喚起を促す対応について、関係先と調整してまいります。 ヘルメット着用率は、大阪府は4.2%（全国平均：13.5%）となっております。 ヘルメットの着用について、児童や園児の安全の確保に向けた啓発活動を継続して取り組むとともに効果的な啓発に向けてどういったことができるかを警察等と連携して進めてまいります。	①
71	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【迅速な対応について】 交通違反、交通事故が多いところのマップを作って、区民のみなさまが区内のどこが危ないか情報を受け取れるようなものを早くアップロードしていただきたい。様々な課題があると思いますが、命に関わることは最優先して取り組んでいただきたい。（高橋委員）	阿倍野区内の交通事故発生状況、自転車関連事故の多発地域につきまして、阿倍野区役所ホームページに掲載させていただきました。今後も区民のみなさまの安全安心につながる対応を迅速に進めてまいります。	①
72	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【スクールソーシャルワーカーの配置について】 スクールカウンセラーの増員は重要で、ありがたいことだが、生活面の問題や家庭での蓄積を考えると、カウンセリングの視点だけじゃなくて、スクールソーシャルワーカーの配置もお願いしたい。 （永岡委員）	大阪市では課題を抱えた子どもや子育て世帯を学校園で発見し、学校と区役所が連携し、保健福祉の支援制度や地域資源等の適切な支援に繋ぎ、子どもと子育て世帯を社会全体で総合的に支援する仕組みとして、大阪市こどもサポートネットを構築しております。 この事業実施に当たり、教育委員会が採用するスクールソーシャルワーカーが阿倍野区にも現在1名（本来は2名枠）配置されており、学校と連携しながら、支援を必要とする家庭・児童を適切な支援につなげるよう努めています。 欠員となっている残り1名のスクールソーシャルワーカーの配置についても、引き続き教育委員会に要望してまいります。 スクールカウンセラーにつきましては、ヤングケアラーや不登校児だけでなく、学校関係者のメンタルケアも重要ということで、非常に少ないとの意見もいただきました。堂駐を目指しているという意見もありますが、人材確保も難しい中で、どういった対応を進めていくか、関係先と調整してまいります。	①
73	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【児童虐待防止対策について】 要保護児童対策地域協議会については、上手く連携できている区と連携が上手くいっていない区があるとお聞きしている。 阿倍野区の現状はどうか。各団体、関係機関が日頃からしっかり連携して、虐待ケースやヤングケアラーなど、それぞれの深刻な状態について、子どもたちの家庭や置かれている状態を日頃から見守り、情報共有して支援してつながりをつくっておくと、要対協の活動が有効になっていくのではないかな。ぜひ、うまく生かして行ってほしい。 要対協の問題というのは、子どもだけじゃなくて高齢者の場合、障がいを持っておられる方の場合と同じで、それぞれの分野ごとで、こういう仕組みがもっとできればいいなと思っておりましたので、ぜひご検討をお願いしたいと思います。 （永岡委員）	阿倍野区では、虐待の未然防止・早期発見・早期対応をめざし、児童虐待防止アウトリーチ事業を実施。幼稚園や保育施設等を訪問、他部署との情報交換等を積極的に行い、課題のある家庭・児童の早期発見に取り組むとともに、関係機関への支援を行っております。 また、虐待対応の専門家や、南部こども相談センター等の行政機関、区内保育施設の代表者等により構成される要保護児童対策地域協議会を定期的に開催し、課題を抱える児童、保護者、家庭を適切に支援する方法について、適時検討しています。 アウトリーチ事業により関係機関との連携を強化した結果、登録が必要な家庭、児童の把握が進んだことで、登録児童数は増えているものの、支援を必要とする児童、保護者、家庭に適時、適切な支援を行っているところです。 高齢者の課題については地域包括運営協議会、障がい者の課題については自立支援協議会を中心に関係者が集まり情報交換を行うとともに支援を行っています。 また、複合的な課題がある場合は、課題に関わる部署が横断的に集まり「つながる	①
74	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【安全なウォーキング環境の整備について】 歩くことに関心が高い高齢者にとって、安全にウォーキングができる道が整備されることは、健康づくりに寄与できることになり、安全・安心なまちづくりの具体的取組みになると考える。例えば、商店街の道をウォーキングに活用することはできないかな。（北村委員）	阿倍野区では地域全体の健康づくりの気運を盛り上げまして、区民の健康向上をめざすことを目的に、「あべのウォーク」を年3回、また老人クラブ連合会とウォーキングサポーターが地域主体で実施する「あべのちょこっとウォーキング」を行っております。コースの選定は、ウォーキングサポーター会議で決定されてますので、団体で歩くという特性上、安全性や歩きやすさを考慮し、検討してまいります。 まちの魅力を再発見するための「お散歩」を提案する「おさんぽマップ」なども活用していただきながら、お散歩、歩くということを楽しんでいただければと考えております。	③
75	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【アプリの活用にかかる高齢者のフォローについて】 お年寄りが日頃の運動を記録するに当たり、合理性から考えたら大阪府のアプリを使うほうがいいと思う。ただ、使ってみて、分かりにくいところや複雑さがあるので、到底お年寄りには使えないと思う。もし、アスマイルを使って健康のパロメーターをチェックすると考えているのであれば、説明会などをしないといけないと思うし、防犯面でいろんな問題が起こっているから、かなりのフォローが要ると感じました。（北村委員）	健康のパロメーターをチェックする方法としてアスマイルを積極的に使用していただくため、高齢の方でもわかりやすいように周知方法を工夫する必要があります。現在、1階の健康情報コーナーにおいて、アスマイルの広報物を配架するとともに、アプリの登録方法等を図示した案内を置いております。	①

[分類]
①当年度において対応
②翌年度に対応予定

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
76	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【高齢者食事サービスについて】 高齢者の食事サービスは1人当たりの補助金額が少なすぎて、すごくやりにくく、ボランティアの方に負担がかかっている。 補助金額の範囲ではすごく食べ物が寂しくなってしまうので、ボランティアの方が汁物等を作って提供する等工夫しているが、物価も上がっている中で補助金額がとても少なくて、やりづらい。 区役所は1人当たりの補助金額が少ないというのはどう思ってるんだろうと思う。その金額でなんとか工夫してやってくださいよということなのか。その辺のことをどう思われているのか。区役所からの意見を聞きたいです。 （本庄委員） 補助金額最低限だと厳しい。今物価が上がってきて、お弁当の値段も高くなってきて、本当に無理だなということを何度も女性部長会議などで話をしている。個人負担を450円、か500円にしようとかか切実な話がたくさん出てきました。 （森委員） 食事サービスについては、今相当物価が上がっていて、地域では本当に困っておられる状況であって、やはりコロナ禍の後、高齢者の方が会食にお越しになってる姿を見れば、委員の皆さんは少しでも工夫してお迎えしたいというお気持ちがあると思いますので、ぜひとも区役所の努力で、たとえ100円でも200円でも、上げていただくような形があれば、期待させていただきたいと思います。 （高岡委員）	高齢者食事サービスについては、平成30年度に、当時の利用料(個人負担額)の実態を踏まえて補助上限額を300円に増額しております。 現在の利用料と補助上限額との関係等について、各地域の実態の詳細を確認中であり、そのうえで方針を決定してまいります。	②
77	R5.9	令和5年度第2回区政会議全体会	【区役所の支援の在り方について】 福祉・健康づくりの課題に対して、どうやったらすぐできるのか、やっぱり支援をすぐできる方向をまず考えていく、何かそこは共通で、みなさまで力を合わせて、区役所としても、今できることをぜひ進めていただきたいと思いますし要望をぜひ国や市へ伝えていっていただきたいと思いますと思っています。 （永岡委員）	福祉・健康づくりの課題への対応の1つとして、地域のつながりづくりについては、地域のみなさまと福祉事業所等の方々にも参加していただいて、福祉に関するご意見をいただく場を1月の中頃に開催を予定しております。	①